

交差点のカラー舗装化等の効果を検証しました

香川県では、平成23年、24年の2ヶ年にわたり、人口10万人あたりの交通事故死者数が全国で最多となり、平成25年度から交通死亡事故抑止対策に取り組んできました。

これまでに、ドライバーの注意喚起を促すために「交差点のカラー舗装化」や「分かりやすい路面標示」の事故抑止対策を平成25年度から実施し、平成28年5月までにすべての箇所対策が完了しました。

今回、対策完了後4年が経過したことから、「交差点のカラー舗装化」や「わかりやすい路面標示」の対策を行った434箇所を検証した結果、事故件数が約52%減少しました。

1 効果検証の対象

交差点等の事故発生箇所434箇所、各地点の事故の特徴に応じて、表1のように5種類の対策を計画し、全ての箇所対策の効果を検証しました。

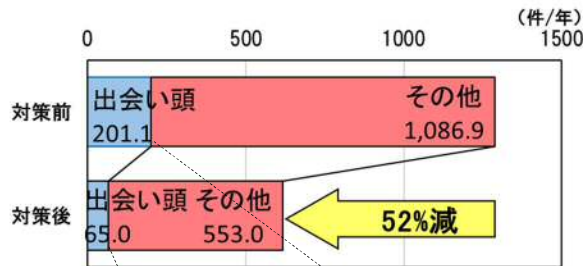
表1 事故対策箇所と事故対策内容

対策箇所	交差点				交差点以外	合計
	交差点カラー化		車線カラー化			
事故抑止対策	路面標示有	路面標示無	路面標示有	路面標示無	分かりやすい路面標示	
検証箇所	73	73	18	19		
	146		37			

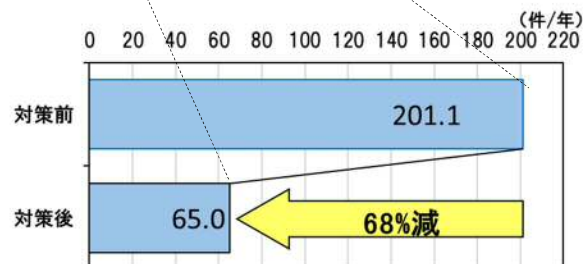
2 事故抑止対策の効果（検証結果）

事故抑止対策の完了した434箇所での事故件数は、施工前に比べ平均で約52%の減少が見られました。特に、交差点カラー化箇所での「出会い頭事故」の件数は、施工前に比べ平均で約68%の減少が見られました(図1)

次のグラフは、計画時点の4年間の事故データ（平成19年～22年）の年平均事故件数と施工後に発生した事故件数を1年あたりに換算した件数を比較したものです。



① 事故抑止対策による事故減少効果 (N=434)



② 交差点カラー化による「出会い頭事故」の事故減少効果 (N=146)

図1 出会い頭事故に高い効果のある交差点カラー化

3 事故抑止対策とは

交通事故抑止対策の対象とする事故の種類（事故類型）を、死傷事故の主な原因となっている「出会い頭事故」、「右折や左折の事故」、「追突事故」の3つとし、各交差点で3つの事故類型が原因となった死傷事故件数が4件/4年以上発生した箇所等において、次のとおり対策を組み合わせ実施しました（図2）。



(a)交差点カラー化

(b)車線カラー化

(c)分かりやすい路面標示

図2 交差点のカラー舗装化等の事例

4 対策方法の選定

事故類型と事故箇所から事故対策を選定しています（表2）。

表2 事故対策の選定方法

事故箇所 事故類型	交差点内	右左折レーン	交差点以外
出会い頭事故	交差点カラー化	—	—
右左折事故	—	車線カラー化	—
追突	路面標示	路面標示	路面標示

(表の中に「—」があるのは、事故箇所と事故類型の組合せから、対策がないことを示しています。)

5 対策で期待される効果

(1) 交差点カラー化や車線カラー化

- ・ ドライバーが交差点の存在に気づき、自動車の速度を落とすことが期待されます。
- ・ 交差点の右折や左折の進路を明らかにすることで、急な右折等を抑えます。

(2) 分かりやすい路面標示

- ・ 直線部分に、「交差点注意」等の標示をすることにより、事前に交差点があることを知らせ、交差点直前での急な車線変更を抑えます。
- ・ 減速マーク（車線の内側の矢羽根）と文字の標示の併用で、速度を抑えます。

お問い合わせ

香川県土木部道路課

建設グループ

電話 087-832-3532